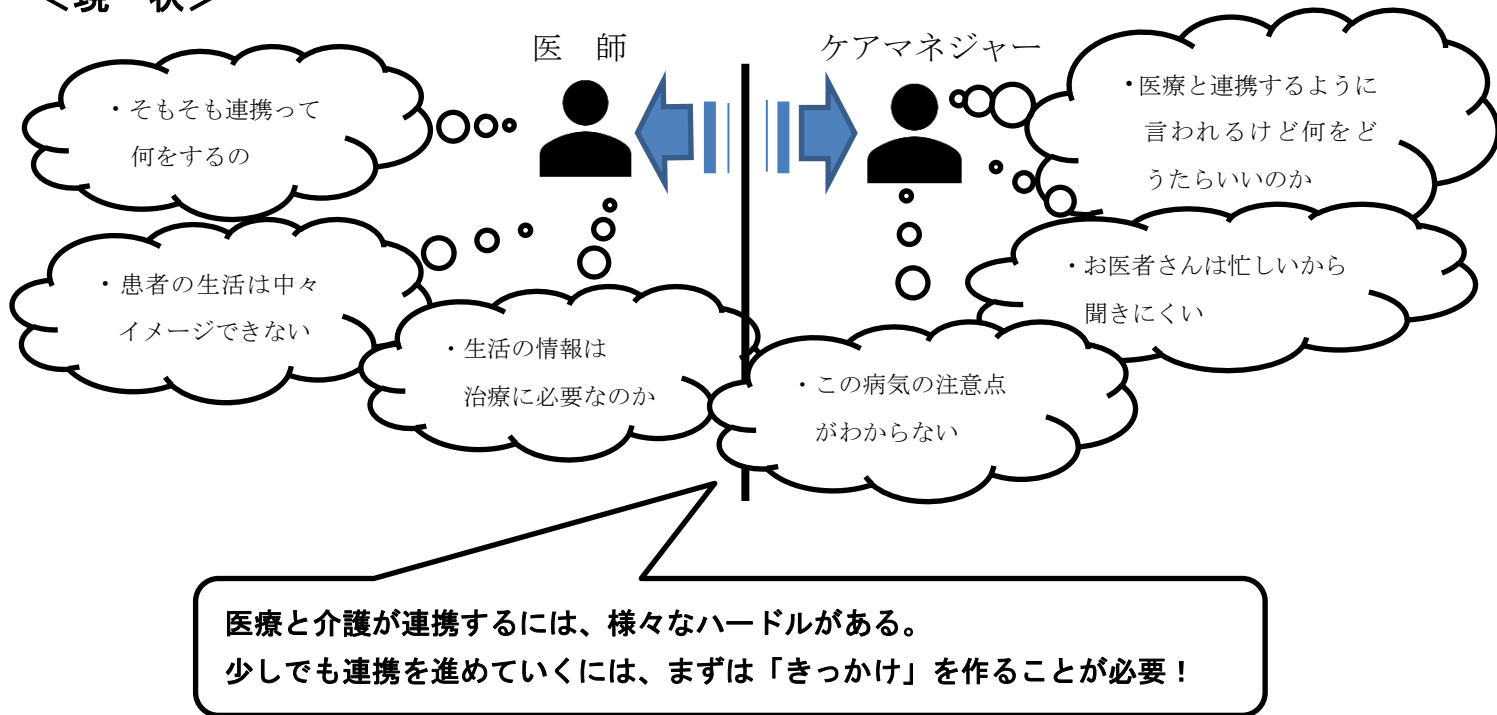


「朝霞市医師とケアマネジャー情報連携シート 運用までの主な変遷について」

令和2年 2月13日	【令和元年度第3回 朝霞市在宅医療・介護連携推進会議 開催】 本会議において、次年度以降、<u>医療（医師）と介護（ケアマネジャー）の連携体制の構築に向けた取組の必要性</u>について、意見があがる。 情報連携シートのような形を想定し、事務局で案を作成し、次回の推進会議において示すこととなる。
令和2年 8月26日	【令和2年度第1回 朝霞市在宅医療・介護連携推進会議 開催】 本会議において、情報連携シートの原案を提示。 委員からは、紙媒体ではなく、MC S等の電子媒体の活用等についても意見が出される。 手段等も含め、<u>本会議のメンバーを中心とした情報連携に関する作業部会を立ち上げ</u>、検討を続けていくことを事務局より提案。了承を得る。
令和2年11月～	【情報連携に関する作業部会 立ち上げ及び定期開催】 概ね月1回程度開催し、情報連携に関する手段等について協議。 結論として、誰もが使えるツールである必要があること、また、電子媒体等の活用状況等についても、普及していない現状等を考慮し、<u>まずは誰もが活用できる紙媒体での情報連携に向けた取組に着手</u>していくこととなった。
令和3年 5月25日	【令和3年度第1回 朝霞市在宅医療・介護連携推進会議 開催】 情報連携シートの原案の提示及び目的等を共有し、現状を基に取組を継続していくことで一致する。
令和3年7月～	【情報連携に関する作業部会 開催】 <u>本シートを「医師とケアマネジャー情報連携シート」</u>することを決定。 令和3年度後半で、本シートを試験的に運用していくこととなった。
令和3年10月～ 令和4年2月	「医師とケアマネジャー情報連携シート 試験的運用を実施」 TMGあさか医療センター及び地域包括支援センター、御協力の下、本シートの試験的運用を実施。
令和4年 6月1日	【令和4年度第1回 朝霞市在宅医療・介護連携推進会議 開催】 本シートに関する進捗報告及び令和4年10月頃を目安に、正式に運用を開始していく方向で進めていくことを報告し、一致する。
令和4年 4月以降	①作業部会において、<u>医師とケアマネジャー情報連携シートの内容を確定</u> ②令和4年7月以降、関係各所へ事業の周知を実施 令和4年8月 朝霞地区医師会 会長及び朝霞支部長、事務局に事業説明 令和4年9月 入院病床を持つ医療機関及び居宅介護支援事業所・地域包括支援センターに事業説明
令和4年 10月1日～	医師とケアマネジャー情報連携シート 正式運用開始

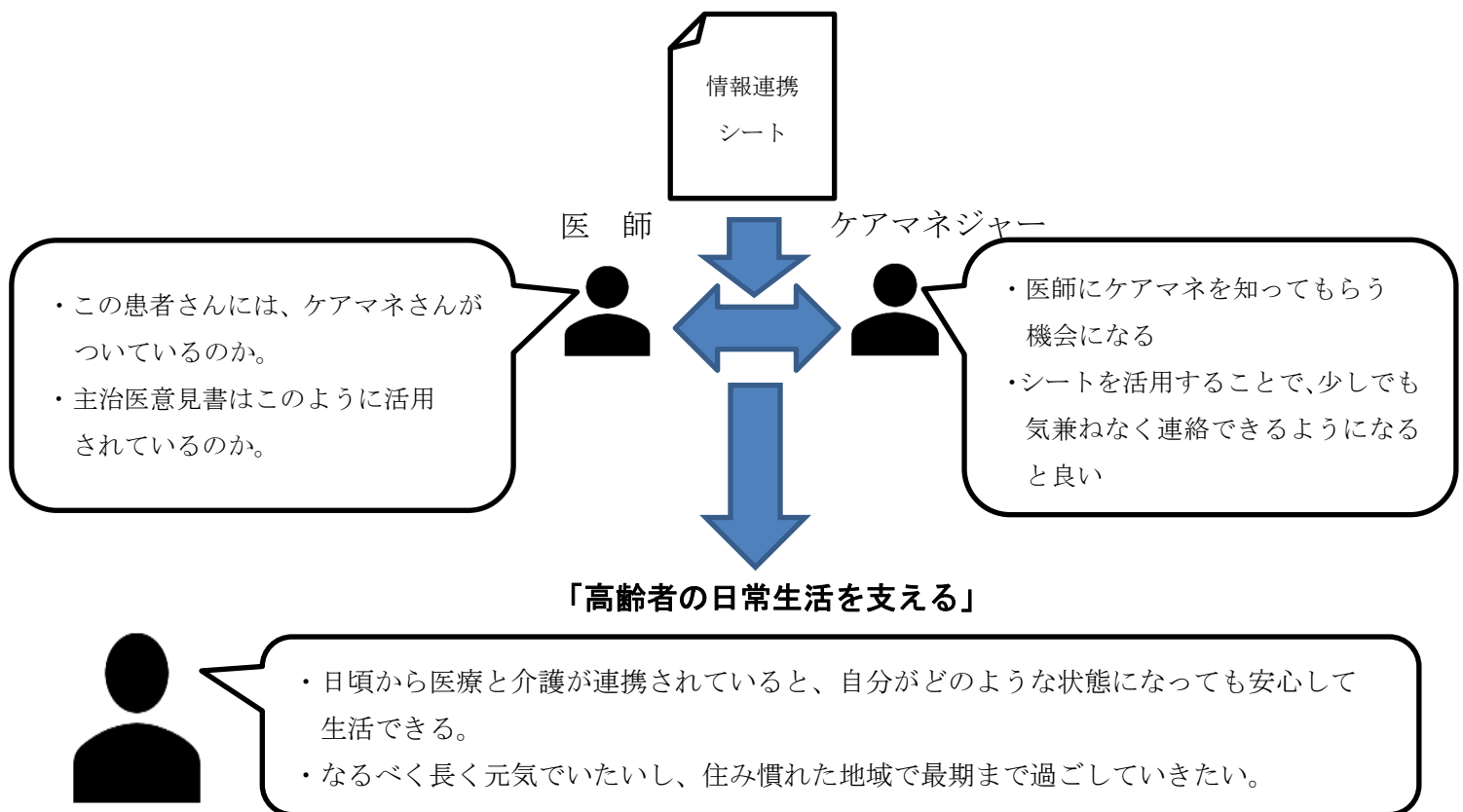
「医師とケアマネジャー情報連携シート イメージ図」

<現 状>



<医師とケアマネジャー情報連携シート～医療と介護サービスをつなぐ～の導入>

- ・ 詳細な情報のやり取りではなく、まずはお互いを「知る」伝えるための「きっかけ」を作る
- ・ 主治医意見書を活用していることやケアマネジメントの方向性を伝えることで、共通認識を高める



医師とケアマネジャー情報連携シート フローチャート（例）

ケアマネジャー	医 師
【想定される主な活用場面】 ①新規対象ケースの場合 ②サービス内容や生活状況に変化が生じた場合 ③報告事項や質問事項が生じた場合 など	
①「情報連携シート」の作成・送付 ・「郵送」「FAX」「受診同行」等の方法で実施 ※新規対象ケースの場合 ⇒情報連携シートの作成を行います。報告や質問事項がある場合、裏面の連絡票を記入してください（報告や質問事項がない場合、裏面の記載は不要です）。 ※報告事項や質問事項が生じた場合 ⇒連絡票（質問票）に内容を記載してください。2回目以降の使用の場合は、状態等に変化がなければ、裏面のみ記載してください。	②情報連携シートの受領及び返信回答 ・所定の方法により、質問について回答する ⇒「電話指示でも差し支えありません」にチェックが入っている場合は、電話・書面、どちらで回答いただいても大丈夫です。 ※質問事項がない場合 ⇒書面を受領するだけとなります。
③支援者間での情報共有 ・担当者会議等において、医師から確認した内容を共有し、支援内容に反映させる	⑤ケアマネジャーとの連携の継続 ・ケアマネジャーからの連絡等に関して、日常的な連携に努める
④医師との連携の継続 ・必要に応じて、本連携シート等を活用しながら、日常的な連携に努める	